

新聖歌188番 「救い主は待っておられる」

1. 救い主は待っておられる お迎えしなさい
心を定(さだ)め今すぐ 主にこたえなさい

* 今まで主は待たれた 今も 主はあなたが
心の戸を開くのを 待っておられる

2. ひと足 主に近づくなら 受けてくださる
心の闇(やみ)は消え去り 愛がわき出る

* (くりかえし)

<リビングプレイス 219番>

6 主イエスの十字架の血で

主イエスの十字架の血で

わたしは赦され

み神と和解をして 平安を得ました

だから今 すべての悩みを

ゆだねよう

主は心に平和を 満たしてくださる

新聖歌253番 「イエスの御腕(みうで)に」

1 イエスの御腕に その御胸(みむね)に

静かに憩(いこ)う われは安(やす)し

天つ使いの 歌の声も 心に近く 聞こゆるなり

* (下線部くりかえし)

2 イエスの御腕に 抱(いだ)かるれば

罪の力も 何かはあらん 疑いもなく 恐れもなく

悲しみすらも深くあらし * (くりかえし)

3 イエスは常世(とこよ)の 岩にませば

生ける限りは 頼らまほし 栄え輝く 国にさむる

常世の朝を 待ちわびつつ * (くりかえし) アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌99番 「馬槽(まぶね)の中に」

- 1 馬槽(まぶね)の中に 産声(うぶごえ)上げ
木工(たくみ)の家に 人となりて 貧しき憂(うれ)い
生くる悩み つぶさになめし この人を見よ
- 2 食(しょく)するひまも うち忘れて
しいたげられし 人をたずね
友なき者の 友となりて 心くだきし この人を見よ
- 3 すべてのものを 与えしすえ 死のほか何も
報(むく)いられで 十字架の上に 上げられつつ
敵を赦(ゆる)しし この人を見よ

【次】

新聖歌99番 「馬槽(まぶね)の中に」

4 この人を見よ この人にぞ こよなき愛は
現われたる この人を見よ この人こそ
人となりたる 活(い)ける神なれ

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらの日用(にちよう)の糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの
おお みかみに

ときわに たえせず
みさかえあれ
みさかえあれ
アーメン